

事務局たより

第9号 2017年2月24日 chyda-kr@f8.dion.ne.jp

◇事務局 101-0061 千代田区三崎町 2-19-8 杉山ビル 2F
千代田区労協気付 T:03-3264-2905 F:03-6272-5263

「共謀罪・戦争法」と「格差・貧困」は同根！ 野党と市民の共闘、今こそ



「戦争から『いのち』をとらえてきた総がかり行動実行委員会は、生活の場から『いのち』をとらえていくことも重要であると考えます。格差の拡大と貧困の広がり、世界各地で紛争の火種となり多くの人々の命を削っています。戦争に反対することは貧困に反対すること、平和をめざすことは平等を目指すこと」(集会プログラムから) —。2月19日、日比谷野外音楽堂で開催された「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」主催の集会は「格差・貧困ノー2.19 総がかり行動 みんなで豊かに！みんな大切にされる社会を！」が集会の中心テーマでした。

本田由紀・東大大学院教授は、具体的事例を上げて日本の格差と貧困の現状を説明し、国民生活に関する

悪い値は世界最高、良い値は世界最低と訴えました。

政党代表の民進党の山尾志桜里さん、共産党の小池晃さん、社民党の福島瑞穂さん、自由党の渡辺浩一郎さんは、安倍暴走政権を打倒するために野党と市民の共闘をと熱く訴えました。

雇用と労働者、奨学金、シングルマザー、災害の各現場からの告発と怒りは、安倍政治がいかに国民の生活を破壊しているかを浮き彫りにしました。

総がかり行動が、戦争法・共謀罪策動を糾弾すると同時に、格差と貧困問題を一体としてとらえて、その悪政打破のために野党と市民の共闘をと呼びかけたことは、運動がさらに広がる可能性を示唆していると感じることができる集会でした。(福島 清)

宮澤弘幸顕彰・追悼墓参と北大OBOGのつどい開く



**宮澤・レーン事件を忘れない！
強権国家づくりノー！**



2月22日午後、新宿・常圓寺で宮澤弘幸顕彰・追悼墓参が行われ、約30人が参列しました。引き続き3時から同寺内で「北大OBOGの集い」が行われ約40人が参加。宮澤・レーン・スパイ冤罪事件を引き起こさせないために、今後毎年、2.22 命日につどいを開くなどの活動方針を決めました。「真相を広める会」事務局は、北大OBOGの活動に積極的に協力します。 福島 清)



上記通信に、宮澤弘幸顕彰・追悼にふさわしい記事が掲載されました。川上さんの了承を得て、全文を紹介します。

あや子さんへ

川上麻里江・自由法曹団北海道支部

高橋あや子様

弘幸さんの命日、2月22日を前にして、私はまた、弘幸さんとあなたのことを思い出しています。

昨年、2016年の12月11日、北海道大学で『1941年12月8日 北大生宮澤弘幸に何が起きたのか？一構成劇&講演のつどい』という集会が開かれました。宮澤弘幸さん、あなたの夫になるはずだった弘幸さんが、「スパイ」の容疑で検挙され、27歳の若さで命を奪われたあの「宮澤・レーン事件」を、北大OBによる「ビー・アンビシャス9条の会」会員を中心とするメンバーが、構成劇にして演じました。私は、この会のメンバーに、演劇の心得があるらしい弁護士ということで(?)出演を依頼されました。

この劇で、私があなたの役を演じたことは、私にとってとても切ない、しかし大切な経験となりました。

この劇に出演するまで、私は、弘幸さんの事件について、

さほど真剣に知ろうとしていませんでした。もちろん、特定秘密保護法について考えるとき、弘幸さんの事件を知ることには必要不可欠であると知ってはいました。しかし、無知だった私は、弘幸さんが、帝国主義それ自体に疑問を持った形跡がなかったこと、むしろそれが世界を良くするものであると信じていたらしいことをもって、「このエリート青年は、事件さえなければ、きっと侵略者の利害に立っていい暮らしをするつもりだったんだろう」と、彼のことを実に冷やかに見ていたのです。

しかし、弘幸さんの心、戦争は国と国との戦いであって、人と人との間に本当に結ばれた信頼を揺るがすに値しないと見抜いていたこと、自ら主体的に考え、正しいと信じる行動を貫く心を知って、それまでの自分の了見がどんなに狭かったかを知らされたのでした。それどころか、私はあなたの役を演じると決まってから演じ終わるまでの数か月間、本当に、弘幸さんのことが好きで好きで仕方がなかったのです…弘幸さんが信じたもの、考えていたことをもっと知りたいと願いました。

弘幸さんは、少し気取っていて、少し危なっかしくて、関心事が多いものだから、いつの間にかどこかに行ってしまうような……確かに忘れがたい人だったに違いない、と思いました。弘幸さんが貴重な夏休みを殆ど旅行に費やしてしまうなんて、いったいどうやって寂しさに耐えたものだろうかとか、書籍『ある北大生の受難』に登場する黒田しづという女性に嫉妬をしたりとか、そんなことを考えながら、国家の行為によって弘幸さんを奪われてから、ほかの誰とも結婚する

有楽町で「共謀罪」反対宣伝行動

2月15日、正午から13時まで、「ストップ秘密保護法共同行動」(M I C、J C J、自由法曹団、全労連、千代田区労協、婦人有権者同盟、国民救援会などで結成)参加団体有志が、有楽町マリオン前で、「共謀罪」の危険を訴え、国会上程を阻止しようと宣伝行動を行いました。訴えと同時に、千代田区労協と本会の連名で制作した「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件は訴える“共謀罪”断固粉碎」のリーフレットをティッシュペーパーに挟んで、約300枚宣伝しました。

丸山重威・J C J代表委員の司会で、岩崎貞明・M I C事務局長、今村幸次郎・自由法曹団、福島清・真相広める会、木瀬慶子・9条フェスタ、三枝和仁・J C J、水久保文明・千代田区労協、田中隆・自由法曹団、仲築間卓三・マスコミ九条の会のみなさんが、それぞれの立場から共謀罪の危険性を訴えました。

ここはかつて、国民を戦争へと駆り立てた「撃ちてし止まむ」の看板を掲げた日劇と朝日新聞社の跡地前です。今、安倍暴走政権は、再び国民を戦争への道に引きずり込もうとしています。「共謀罪」はそれに不安を持ち、抗おうとする人々を弾圧する凶暴な武器です。声をあげ、行動を起こし、断固粉碎しましょう。(水久保文明)



ことなく90年ほどの生涯を過ごしたあなたの気持ちに、少しでも近づこうとしていました。

客席から聞こえたすすり泣きのうちのいくらかは、間違いなくあなたに向けられたものだったと思います。歴史の中の大切な出来事を誰かに伝えたいとき、自分の問題として身近に捉えてほしいとき、演劇は非常に役に立つのだということを、私は実感したのでした。

あや子さん。特高が弘幸さんに目をつけていると知ったとき、あなたははどうしたいと思いましたか。弘幸さんが検挙される可能性が高いとわかっていたら、レーン夫妻を慕って訪ねて行くのを止めようと思いましたか。あなたを演じた私の答えは…それでもやはり、弘幸さんには、己の信じるところに従って行動してほしいと望みただろう、というものでした。

あなたは弘幸さんの、広い視野と行動力、そして流されず信念を貫く生き方を、愛していたのではないですか。そういう弘幸さんに、憧れと尊敬の気持ちをもって、生涯この人と暮らしていきたいと、願ったのではないですか。

平和憲法ができて70年が経ちました。弘幸さんのような人たちが、少しは生きやすい世の中になったかどうか、と思いを巡らせています。平和と人権の憲法が、喜びをもって受け入れられてから何十年かが経つうちに、この国の人たちは、平和にも人権にも慣れてしまって、そういったものを、かえって胡散臭いと思ってしまっているような気がします。弘幸さんも信じ、愛していたはずの国家が、時に国民に牙を剥き、命や絆を奪ってしまう場合があることを、忘れつつあ

るような気がします。ほんとうに、弘幸さんには戦後を生きてほしかった。帝国のエリート青年から、国家に裏切られた経験を土台に、さらに知見を広げて、本当の民主主義国家に日本を作り変える力をもった大人へと変貌する姿を見てみたと、心から思います。そしてあなたが、戦後の時代を、どんなに弘幸さんと一緒に生きたかと思うと、今でも時々涙が出そうになるのです。

2017年の今、特定秘密保護法はできてしまっているし、政府はさらに「共謀罪」なるものを作って、市民への監視を強めようとしています。一人の国民に「スパイ」の容疑が、人々の間に疑心をもたらし、絆を破壊し、多くの人の人生を変えてしまうものだというのが、弘幸さんの事件を通じてよくわかりました。最も悲しかったのは、解放された弘幸さんが、監獄で失った健康を回復できずそのような世の中を再び作りだすことがないように、私たちの努力が問われているのだと思います。

これからも、特定秘密保護法の廃止に向け、そして政府が戦争の教訓を忘れて突き進もうとしている諸憲法の成立阻止・廃止のための運動を続けることを、約束します。第二の弘幸さんを生まないために、そして、第二のあや子さんを生まないために。

【事務局注・高橋あや子＝宮澤弘幸の5歳年下。父方同士が遠縁。父は警察官で若く病死。医師志望だったが断念。父共々クリスチャン。急性腎盂炎で入院し、見舞いにきた宮澤弘幸がその翌日に検挙された。会計事務で生計たてる。

櫻井よしこの悪質性を追及

植村裁判・札幌 第6回口頭弁論

元朝日新聞記者の植村隆さんがジャーナリスト櫻井よしこと新潮社などを訴えた名誉毀損訴訟第6回口頭弁論は札幌地裁 803 号法廷で午後3時30分開廷しました。傍聴者は定員71人を超える73人にのぼり抽選となりました。今回は4月14日です。

札幌地裁ではこれまで5回の口頭弁論が開かれていますが、被告側は「捏造決めつけ=名誉棄損」を認めようとしないうえに双方の主張は対立したままになっています。この日は、植村弁護団21人が櫻井よしこ氏代理弁護士側7人と対峙。弁護団は、第9準備書面要旨①で、被告櫻井による名誉毀損の悪質性を追及し、名誉毀損行為が極めて悪質であること。同要旨②では、被告櫻井の摘示事実の真実性が認められないこと等々について詳細に指摘した準備書面を提出すると同時にその内容を陳述しました。

今回は非常にわかりやすい弁論で、終了後の報告集会でも傍聴参加者から「具体的な指摘でよく分った」と拍手が会場を包んでいました。

報告集会は110人が参加して、午後4時30分から札幌市教育文化会館で開かれ、小野寺信勝弁護士(植村氏裁判事務局長)から上記要旨の報告がありました。

植村隆さんは沖縄ツアー『目覚めへの旅』と題して、2月1日～6日の旅行報告をしました。高里鈴代さんと36年ぶりに再会し、「沖縄の日本軍慰安所146か所と米軍の性暴力」などの資料をいただいたことや、沖縄が現在おかれている政府の攻撃等々を肌で感じたこと、素晴らしい人々と出会い、『目覚めへの旅』の始まりとして沖縄の人々と連帯していきたいと語ってくれました=写真。



このあと「トランプ現象とメディア」(日本の状況は)と題して外岡秀俊氏(ジャーナリスト・作家=1953年札幌市生まれ、東大法学部卒、朝日新聞社ニューヨーク特派員、東京本社編集局長などを務め2011年退社)の講演がありました。米国大統領のトランプ現象は全世界に物議をかもしっていますが、パネルを使っ

ての種々の問題点提起は大変勉強になりました。最後に斎藤耕弁護士が、「共謀罪」阻止は喫緊の取り組みであり、国会に上程させない行動を起こそうと訴えました。

(根岸正和)

<コラム> 冤罪忘れるな!⑨

冤弾・札幌北光教会

札幌市中央区大通西1丁目14

戦前・戦中のキリスト教徒は、信徒であるが故に弾圧された。戦争権力へ迎合を強いられ、教会報国団を組織、戦闘機増産の献金にまで尽したが、遂には教会堂を敷地ごと軍に接収されている。そんな不条理を背負う北光教会はレーン夫人の父・ローランドが草創期の宣教師として半生を奉仕(1896～1929)した縁でも篤く、この地に在るだけで歴史の襲をなしている。



元々の名は congregational church 訳して札幌組合教会と呼んだ。会衆相互の自由な意思に拠って契約の意とされる。第一次大戦の兵役を忌避、戦後の北大に赴任したハロルドと、大戦で夫を奪われたポーリングがこの教会で結ばれている。いまま聖歌奏でる古いオルガンはポーリングが戦死した先夫への思いを込め寄進した遺品でもある。大通の西の端・円山にはレーン夫妻の墓があり、この教会の会衆たちが護りしている。

◆ ◆ ◆
真相に迫る決定版(本会編)

『引き裂かれた青春—戦争と国家秘密』花伝社刊

第1部・冤罪の真相 第2部・冤罪事実の条条検証
資料編・判決全文 軍機保護法全文 年表 特別添付・重要事項索引

申し込みは本会事務局までFAX・メールで(1面上部題字横に掲載)。送料税込み2300円。後払い。

【事務局から】2月14日、千代田区内で、小原隆治さん(早稲田大学・政経学院教授)、中川雄一郎さん(明治大学・政経学部教授)などの呼びかけで『東京1区市民連合(仮称)』準備会が結成されました。千代田・新宿・港の各区から17団体・35人が参加して、熱心な討論が行われました。集会は『東京一区のみなさんへ! 共同アピール』を満場一致で確認し、奮闘する決意を固めました。首都東京の中心地・東京1区で市民と野党の共闘を広げ、野党統一候補・国会議員の実現をめざします。

(水久保文明)